



通関士講座

衣笠

海外取引や国際物流の最先端で活躍しよう!

通関士ってどんな仕事?

貨物の輸出入には必ず関税手続きが必要です。関税の支払、貨物の検査、最終的な許可という手続きを経て輸出入は行われますが、こういった手続きにおいて商社などの輸入業者と税関の間に立ち、必要な書類を作成・提出し、責任を負うのが通関士です。通関業務の適正化と処理の迅速化をはかるため、通関業者の質的なレベルアップと権威づけを目的に設置された資格であり、貿易実務、関税業務のスペシャリストであるといえます。

通関士の具体的な仕事は、貿易企業などからの依頼に応じ、保税倉庫あるいは保税工場に外国貨物をおくことの承認申請など、税関に提出する通関書類の審査を行うことなどです。資格取得後は、通関業者(運送業や倉庫業)への就職をはじめ、商社、物流、小売、メーカー、航空、船舶、旅行業など輸出入業務も行っている一般企業に就職し、通関業者との折衝等にも能力を発揮できます。

講座の概要

本講座では、常に国家試験の出題を調査・研究している講師による指導のもと、オリジナルテキストを使用しながら、輸出入に関するさまざまな法律や規制をはじめ、通関業務について学んでいきます。

スケジュール

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
4月下旬～10月上旬												

試験データ

2006年度	受験者数	10,357人
	合格者数	725人
	合格率	7.0%

試験のあらまし

通関士試験	
試験科目	(1)通関業法 (2)関税法、関税定率法その他の関税に関する法律及び外国為替及び外国貿易法 (3)通関書類の作成要領その他の通関手続の実務 通関業者の通関業務または関係官庁で、関税その他通関業務に15年以上従事した者(2)と(3)、同じ業務に5年以上従事した者(3)が免除される
試験日	年1回(10月上旬)

受講生データ

合格率	
合格者(人数)	合格率(%)
9	23.1

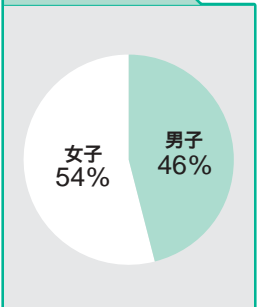
受講生の進路

伊勢湾海運(株)、日本ビクター(株)、(株)阪急交通社、丸二物流(株)、山久(株)

学部別受講生

学部	衣笠	BKC	計	%
法学部	9	0	9	15.3
経済学部	0	11	11	18.6
経営学部	0	15	15	25.4
産業社会学部	6	0	6	10.2
国際関係学部	8	0	8	13.6
政策科学部	4	0	4	6.8
文学部	5	0	5	8.5
その他	1	0	1	1.7
合計	33	26	59	100.0

受講生の男女比



回生別受講生

合計 / 59人

1回生	2人	3.4%
2回生	28人	47.5%
3回生	25人	42.4%
4回生	3人	5.1%
その他	1人	1.7%

合格者からのメッセージ

大学進学以前より、貿易について、特に物の輸出入について興味があった私は、迷わずこの通関士講座を受講しました。最初は興味がある程度でしたが、吉田先生の授業を受けて、物の輸出入と一言でいっても、とても深く、様々な分野で必要とされる知識であることが分かりました。この講座を受けるまでは、自分の将来についてまだ曖昧な考えしか持っていませんでしたが、講座を通して自分が具体的にどのような会社に就職したいのか考えることができたので、自分にとって良い経験になったと思います。

2006年度通関士講座受講

通関士合格 三木晋一郎さん(法学部2回生)

担当講師からのメッセージ

通関士という職業は、一般的には余り知られていませんが、法律上輸出や輸入の要である通関手続は、通関士資格を持たない人が行うことはできません。ラーメンから人工衛星まで、日本の貿易を支える「緑の下の力持ち」、それが通関士です。

また銀行、商社、メーカー、航空会社等のビジネスでも、物流コーディネーターとして国内外でその知識を生かす場面も少なくありません。

ただ膨大な法律を丸暗記するのは、苦痛以外の何物でもありません。でも実際は立法趣旨を理解し納得することが合格への近道なのです。半年間の学習は決して楽なものではありませんが、「我武者羅」という言葉を体感して、最後に大きな喜びを勝ち取って下さい。

トラジャルウエスト 吉田裕美 講師